木部用｜屋内専用・屋外専用

木守り専科（きまもりせんか）
国産 ● 高機能 ● ナチュラル

古民家再生

全国の“空き家問題”に塗料で貢献!

“自然素材”である植物油を、現代の“技術”で活かした塗料が、古民家の古材を再生させ、風合い、美しさを持続させる

「古民家再生塗料」

“自然素材”を活用することで、環境へも配慮し、自然との共生を図ります

【古材の塗料の吸い込みを抑制し、塗装効率を高める「下塗剤」もラインナップ!】

植物油をベースに天然顔料、特殊樹脂等を配合、
経年した古材を再生させ、風合い、美しさを持続させる塗料。
「屋内用は安全性、屋外用は耐候性」を重視し、古民家リノベーションに貢献します。

JASS18
M307
木材保護塗料
(WP ステイン)
規格適合品

F★★★★ 相当製品	低臭性	◯	速乾性	◎	着色性	◎	耐候性	◎	化学添加	低

「古民家再生塗料」で古民家の古材を美しく再生させる!

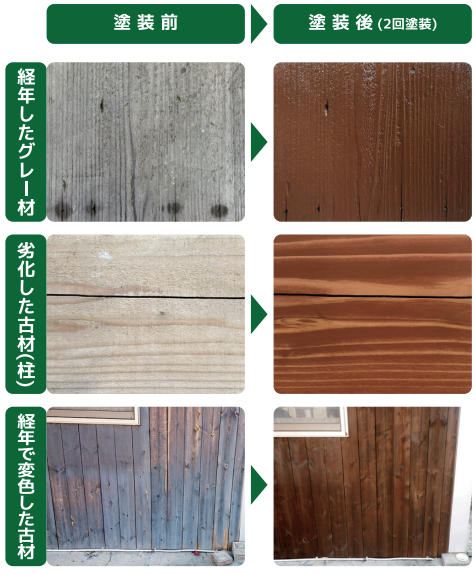
※城、武家屋敷、長屋等の歴史的建造物の場合、調色対応も可能!

★木守り専科「古民家再生塗料」とは

今までの古民家再生で古材に使われていた塗料は、溶剤系のケミカル塗料を塗装するのが一般的でした。しかし、元々経年した古材に石油系の塗料を浸透させると、経年で直ぐに木材が劣化してしまい、より劣化を進めかねません。
そのため、近年では自然素材を活かした塗料で再生させることが注目されていますが、その反面、自然素材だけでは耐候性が低いことが課題でした。
「古民家再生塗料」は、古民家の経年した古材にとって必要な木材保護成分と、古材の風合いを活かした着色によって、美観を長持ちさせることを実現しました。

★空き家に関する法律の改正が古民家再生の活発化に!

全国的な空き家問題を解消するため、平成27年に施行された「空き家等対策の推進に関する特別措置法」が令和5年より、「空き家等活用促進区域制度」に改正されたことで、建築基準法等に定められている規制を緩和できるようになった反面、空き家の固定資産税が最大で6倍になる場合もあります。
これにより、現行法では難しかった空き家の用途変更も進めやすくなり、古民家再生の事業も活発化すると期待されます。



●古民家に合わせた11色のカラーバリエーションで、古材を美しく仕上げます

※1回塗り＋ふきとりなしの場合

古民家に合わせた11色の「和の色」で、古材を美しく仕上げることが可能です。
着色性能についても、古材の種類・経年の状態に関わらずしっかりと着色することができます。
屋外では、最長8年の色落ちを防ぐ高い耐候性を実現しました。

古民家色	かれちゃいろ 枯茶色	かれこくしょく 枯黒色	くりいろ 栗色	くるみいろ 胡桃色	しっこくいろ 漆黒色	すいれんいろ 睡蓮色
伝統色	あかねいろ 茜色	ばしょういろ 芭蕉色	るりいろ 瑠璃色	すみれいろ 菫色	ひまわりいろ 向日葵色	

XION Co., Ltd
株式会社シオン

〒020-0891 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南3-8-1
TEL: 019-677-7060 FAX: 019-637-3190
E-mail: info@xion.co.jp
http://kimamoli.jp

木守り専科 検索

製品仕様

作業性ポイント

「作業性」は、速乾性、着色性に優れ、さらに塗料の延びがよく、1リットルあたりの塗面積が広いです。
「耐候性」は、最長約8年色落ちしにくい高い木材保護機能(※1)を有します。
(※1)「2回塗り＋ふきとりなし」の塗装方法の場合。木材の経年度合いによって耐候性は異なる場合があります。

効果
耐候性／UV抵抗／防蟻防虫／防腐／防カビ

用途
屋内用、屋外用 木部専用

成分
下塗剤 精選亜麻仁油、木材保護剤、非石油系乾燥剤
屋内用 ＋紅花油、顔料(木材保護剤は入っていません)
屋外用 ＋植物性シリカ、高UVカット剤

内容量
1ℓ (15～20㎡)　8ℓ (120～160㎡)
4ℓ (60～80㎡)　16ℓ (240～320㎡)

標準塗布面積並びに塗布量
1回塗りの場合、1ℓで約15～20㎡
(1㎡あたり0.05～0.07ℓ)
標準塗布面積ならびに塗布量は、樹種、含水率、経年度合い、塗料の吸い込みやすさ等の要因より異なることがあります。

乾燥時間
ふきとりなしでの塗装→
指触乾燥：約2時間／完全乾燥：約24時間
乾燥時間は、気温20℃、木の含水率20％以下での目安です。塗装回数、樹種や気象条件により乾燥時間が異なります。

臭気
低臭で、臭いが少ないです。ご利用される方に安全な製品です。

安全性
国土交通省建築指導課による「告示対象外製品＝ホルムアルデヒドの放散がほとんど認められない製品」に相当。さらに、「F☆☆☆☆相当」であることを確認済みです。
一般財団法人 日本塗料検査協会 西支部における JIS K 5601-4-1:2003「塗料成分試験方法-第4部:塗膜からの放散成分分析-第1節:ホルムアルデヒド　3.デシケータ法による」を実施し、ホルムアルデヒドの放散量が基準値以下であることを確認済みです。

シオン国産●高機能自然塗料 木守り専科「古民家再生塗料」施工単価(＝設計単価)表（業者用）
※平面：施工面積200～300㎡程を想定

■古民家用下塗剤 ＜木守り専科 下地処理用(目止め・木材保護・本塗装の下塗り)下塗剤＞

推奨塗装方法　1回塗り＋ふきとりなし　※古材の状況に応じて2回塗りを推奨
施工可能面積　1回目、2回目…約20㎡　※古材の経年状況によって大きく変わる場合があります。
施工単価

タイプ	用　途	塗装回数	施工単価(㎡あたり)	推奨塗装方法
下塗剤	下地処理用(目止め・木材保護・本塗装の下塗り)	1回塗り	1,600円	1回塗り＋ふきとりなし
		2回塗り	2,400円	2回塗り＋ふきとりなし

■本塗装 ＜木守り専科「古民家再生塗料」(屋内用・屋外用)＞

推奨塗装方法　A…屋内用：1～2回塗り＋ふきとり　B…屋外用：2回塗り＋ふきとりなし
施工可能面積　1回目…約20㎡　2回目…約30～40㎡　※下塗剤を施工した場合の面積です。
施工単価

	タイプ	用　途	塗装回数	施工単価(㎡あたり)	推奨塗装方法
A	屋内用	屋内木部(天井、床、腰板等)、木製建具	1回塗り	1,900円	1回塗り＋ふきとり
			2回塗り	2,800円	2回塗り＋ふきとり
B	屋外用	屋外木部(ウッドデッキ、外壁)	2回塗り	4,200円	2回塗り＋ふきとりなし

! 以下、重要な事項となりますので、必ずお読みください。

※1:「古民家再生塗料」は下塗剤、屋内用、屋外用で分かれております。下塗剤は木材保護成分(防蟻防虫、防腐、防カビ)、屋外用は左記成分と紫外線に強い高UVカット剤が配合しております。屋内用は木材保護成分は配合しておりません。

※2: 屋外用タイプは屋内用に比べて植物性シリカや高UVカット剤が配合されているため、屋外で最長約8年の色落ちしにくい耐候性を有しています。屋外での耐候性が求められる箇所での使用を推奨しています。

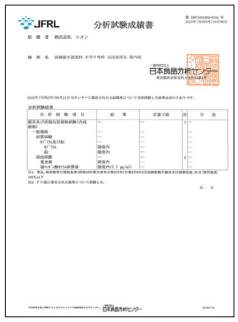
※3: 古材への塗装の際に、目止め・木材保護・本塗装の下地処理のために、下塗剤の塗装を推奨しております。下塗剤なしで本塗装のみで仕上げることも可能ですが、古材によっては仕上がりに色ムラが生じたり、色が沈んで本来の色が表現されなかったり、古材が吸い込みすぎることにより標準塗布量よりも多く塗料を必要とする場合があります。予めご注意ください。

※4: 古材にヤニ、カビ等が付着したまま塗装を行うと、表面に浮き出てくることがあります。除去した上で塗装を行ってください。

木守り専科「古民家再生塗料」試験結果データ



▲JASS18 M307 木材保護塗料(WPステイン)試験結果報告書


▲食品衛生規格分析試験成績書

※5: 経年の具合によっては、木の導管が広がっている影響で、「2回塗り＋ふきとりなし」では塗装が沈んでしまい、思った仕上がりにならない場合があります。その状態では、期待される耐候性を発揮できない場合があります。その際は塗装回数を増やす等、仕上がりを確認しながら進めてください。

26.10 第3版

使用上の注意

●湿度が高い、気温が低い、塗布量が多すぎる等の場合、乾燥が極端に遅くなる場合がございますので、ご注意ください。
●イペ・ウリン・バツ等の硬質材のような木材に塗布した場合、塗料が浸透しにくいほか、乾燥が遅くなる場合があります。十分にご注意ください。
●使用した刷毛、ウェス(布)は水に浸け、水分を含んだ状態で処分してください。(自然発火防止)
そのまま処分すると、植物油が乾燥工程で酸化重合する際、熱を持ち、自然発火する恐れがあります。取扱いには十分ご注意ください。